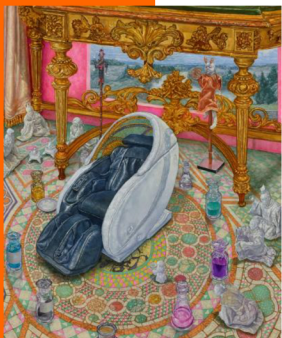




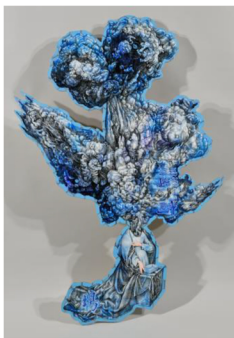
《記憶のジオラマ》油彩、白亜下地、綿布、パネル/182.0×520.0cm/2015年



《ガイドツアー》油彩、白亜下地、綿布、パネル/194.0×324.0cm/2021年



《リカバールーム》油彩、白亜下地、綿布、パネル
72.7×60.6cm/2022年



《爆発するマリア Blue》ミクストメディア、パネル
123.5×86.0cm/2019年

「N.E.blood 21」は精力的に制作、発表活動を行う東北・北海道在住若手作家を紹介するシリーズ企画です。美術館とアーティストとの新しい関係を模索しつつ、作家同士のネットワーク形成を念頭に置き複数の作家の個展を開催しています。通算第84回目となる本展では、山形県在住の作家 狩野宏明(かの・ひろあき)を紹介します。

狩野は1983年山形県生まれ、2010年筑波大学大学院博士後期課程人間総合科学研究科芸術専攻を修了。現在は東北芸術工科大学にて教鞭を執っています。油彩を中心とした絵画作品を制作、多くの個展・グループ展・公募展で精力的に発表し高い評価を得ています。

狩野の作品には実在する多様なモチーフを奇抜に組み合わせ構成されたシュールな光景が描かれています。構成要素のジャンルや様式は幅広く、洋の東西や有機・無機、人工・天然、アナログ・デジタル等を問いません。文化や歴史、世界線すらも超越した虚構の世界がキャンバスという無限の劇場で熱量高く繰り広げられています。

リアリズムによって緻密に描かれたモノたちは狩野の圧倒的な画力に支えられ、それぞれ存在感を放ちながらの複雑な世界を成立させています。狩野が提示する世界から生まれ出る新しい感覚や価値観は私たちのイマジネーションを大いに掻き立てます。



《M-SCAFFOLDING》油彩、コラージュ、金箔、白亜下地、綿布、パネル
91.0×116.7cm/2018年

- | | |
|--|--|
| <p>1983年 山形県生まれ
2010年 筑波大学大学院博士後期課程人間総合科学研究科芸術専攻 修了 (博士(芸術学)取得)
2010年 文化庁新進芸術家海外研修制度によりイタリアのフィレンツェに滞在(～2012年)
現在 東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 洋画コース 准教授</p> | <p>主な展覧会
2023年 狩野宏明展—新しい梯子と主電源—/東海ステーションギャラリー(茨城)
2022年 みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2022 / 文翔館議事場ホール(山形)
2019年 狩野宏明展—爆発するマリア—/ギャラリー 広田美術館(東京)
2018年 狩野宏明展—SCAFFOLDING—/最上川美術館 企画展示室(山形)
2015年 狩野宏明展—記憶の劇場—/佐藤美術館(東京)
2013年 第16回岡本太郎現代芸術賞展/川崎岡本太郎美術館(神奈川) ほか多数</p> |
|--|--|

狩野宏明 (kanon hironaka) 誕生日

リアス・アーク美術館利用案内 ●常設展—①美術作品展 ②歴史民俗資料展—方舟日記—海と山を生きたリクスベーク—1 ●東日本大震災の記録と津波の災害史展 [常設観覧料]—一般:700(600)円/大学・専門学生:600(500)円/高校生:500(400)円/小・中学生:350(250)円 ※(1)内は20名以上の団体料金 ●ワークショップ—土・日を中心に開催するアトリエ ●レストラン「キッチン」—夢の倉—地元食材を中心とした創作料理をご提供。日替りランチ、シーフード系バスタ・カレー、ラーメンが人気です。

■三陸自動車道【気仙沼中央 IC】から約5km(仙台市から約115km/石巻市から約70km/陸前高田市から約25km)
■東北自動車道—[関 IC]から約50 km ◆無料駐車場あり(普通 37 台・大型5台)

■東北新幹線—[一ノ関]—(大船渡線)—【気仙沼】—【気仙沼】—(気仙沼線)—【気仙沼】▶気仙沼駅からタクシー(約15分)をご利用ください。 ※タクシー前乗券と常設観覧券引換券のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所(一社)気仙沼市観光協会(電話:0226-22-4560)で販売中。※現在、気仙沼線[前谷地—気仙沼]間、大船渡線[盛—気仙沼]間はBRT運行。



N.E.blood 21
vol.85
たのびのあやか
只野彩佳展
絵画/宮城県在住
<観覧無料>

同時開催